

留学報告書 II (2025 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾女子高等学校 2 年
留学先校名	The Taft School
留学期間	2025 年 8 月から 2026 年 5 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

留学に行く前は現地での授業についていけるかや友達を作ることができるかなどの不安がありました。しかし、実際に行ってみると授業では先生方がスライドや専用の workbook を用いて内容の説明を丁寧にしてくださっていました。さらに、授業時間外にはそれぞれの教科の先生が extra help という授業内容についての質問を受け付ける時間を設けており、授業でわからないことをしっかり解決できるシステムになっていることにとっても安心しました。また、生徒や先生方もフレンドリーな人が多く、知り合いが少なかった最初の方でも廊下ですれ違うたびに挨拶をしてもらうことにとっても励まされました。授業や afternoon activity 以外にも color team というそれぞれに割り振られたチームでの交流の機会もあり、そこにいる他学年の人たちとも距離を縮める大きな助けになったと感じています。授業も学年ごとの分けられていないクラスでは自分とは違う学年の人と関わることができ、充実感のある体験をすることができました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

Afternoon activity としては秋に theater tech、冬に squash、春に crew を選びました。秋の theater tech では、劇で役者が着用する衣装を仲間と一緒に作ったり管理したりしていました。最初のうちは慣れない衣装整理に苦労しましたが、仲間と試行錯誤しながら協力した結果、年度末には halo awards というコネチカットの演劇の award にノミネートされることができとても嬉しかったです。冬に行った squash では、週に 2 回程度のペースで室内のコートで練習を行いました。それとは対照的に、春に行った rowing はほぼ毎日池や erging room で練習がありました。定期的に行われる練習は毎回ハードで体力を付けるにはもってこいでした。それ以外にも、クラブ活動として Model UN と地域の教会でのボランティアに参加していました。Model UN では秋に Choate Rosemary Hall で行われた Choate X Taft MUN と冬に行われた Yale Model UN に出席しました。秋の MUN ではまだまだ position paper の書き方や発言方法など不慣れなことが多かったのですが、練習を重ね、冬の活動では発言回数を増やすことができたことは留学先での自分の自信を育む大きな一歩になりました。特に冬行われた Yale MUN では通常の conference の他に Star Wars や LEGO などの fiction を題材にした conference で盛んな議論が多く行われており、とても興味深かったです。

勉強の進め方や進学や将来について、アドバイザーや学校の先生と話す機会がありましたか。どのようなアドバイスをいただきましたか。

私のアドバイザーは art のクラスを担当しているフレンドリーな方でした。アドバイザーとは一週間に一回程度 advisor meeting か community lunch で会う機会がもうけられていました。advisor meeting は二週間に一回程度行われ、学業や学校生活など直近のことを advisor に何度も相談できました。advisor にはまだ portal では公開されていない quarter grades や semester grades を早めに提供してもらうこともでき、自分の成績情報を把握するのにとても重要な役割を担っていました。community lunch は advisor meeting が行われていない週に開かれ、advisor や同じ advisory group にいる生徒と話をしながら昼食を食べ、生徒や先生と交流を深めていました。特に、私の advisory group には私を含めて二人しか生徒が所属しておらず少人数だったので advisor が一人一人と話す時間がじっくりとれ、各週に起こった出来事やその時に困っていることなどがとても話しやすい環境でした。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。
授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。

UM English:

一年を通して何冊かの本を読みながら授業が進められていました。このクラスで読んだ本は The Great Gatsby、Their Eyes Were Watching God、The Crucible、Fences、Fahrenheit 451、Kindred の七冊でした。人種差別や American Dream、魔女狩りの歴史など現代のアメリカ社会にも紐づけられる深い内容の本が多い印象でした。成績は授業内で行われる In Class Essay、discussion、その他の提出物を元につけられていました。授業内では日本に比べて日頃から自分の意見を求められる場が多く、discussion では他者の意見に耳を傾けながらも自分から積極的に発言し、クラス全体の議論の進展に協力することが求められる印象でした。また、In Class Essay に向けては先生が用意したテンプレートをもとに一週間ほど前から用意をし、その場で与えられた passage や設問に対して限られた時間の中で自分なりの分析を行う力が求められ、最初は苦労したことをよく覚えています。

Honors Precalculus:

主に日本の数学 2 で学ぶような指数関数、対数関数、三角関数から微分積分の序盤にかけて学習しました。各授業後には教師からテキストの課題が与えられ、成績は定期的に行われる quiz や test をもとに付けられていました。テストでは日本に比べてシンプルな形式の問題が多かったですが、その分限られた時間の中でスピーディーに要領よく問題を解く力が求められました。

Honors Physics 1:

初回の授業で配られる workbook を使って主に授業が進められていました。内容としては energy や電流など日本の授業でも扱うものが多かったです。授業内では先生が内容の説明をする他、黒板に書かれた問題演習や実験が行われていました。成績は主に quiz や test、実験の後に書いたレポートの評価をもとにつけられていました。日本に比べて quiz の中では記述の問題が多かったです。実験を含めた日々の授業では生徒同士や生徒と先生間の会話がが多く、賑やかなクラスでした。宿題は workbook から毎回の授業ごとに出され、quiz や test もそれを元に作られていました。

United States History:

一年を通してアメリカ史を学習しました。テキストは Foner の Give Me Liberty で 1492 年のコロンブスのアメリカ大陸発見から現代までの歴史を一通り学びました。成績は essay、quiz、discussion を元に付けられていました。Essay ではアメリカ史で起こった歴史の出来事を自分で関連づけて質問に対して自分の主張を論理的に構成することが求められており、毎回のエッセイごとに教師から Topic、Evidence、Analysis、Connection、Understanding、Grammar の各項目について評価を得ることができました。また、授業内の discussion ではアメリカ独立戦争や WW2 などアメリカ史の数々の場面について生徒と議論し他者の意見を盛り込みながら積極的に自分の考えを表現することが求められていました。

Accelerated French 1:

フランス語の初級クラスでした。私を含めほぼ全員がフランス語初心者で、授業内では基本的な文法事項の説明と先生が用意したアクティビティが行われていました。具体的に文法事項としては過去、現在、未来の簡単な時制をそれぞれ学びました。成績は quiz や test の筆記試験の他に oral exam や presentation という口頭での試験も含めて評価をつけられていました。test には文法事項に関する質問や作文があり、presentation では 10 分程度フランス語のみを使用してクラスの前で自分の国や家族について発表しました。

Acting:

一学期の art でこのクラスを取っていました。授業内では先生が出したお題に合わせて自分が演技したり、他の人が演技する用のスクリプトを宿題として描き、それに合わせてみんなで演技したりしていました。成績は授業内での演技の様子や時々出されるビデオ課題を元につけられていました。クラスの前でも恥ずかしがらずに即興で演技を披露したり、自分オリジナルのクリエイティブなシーンを作成したりする

ことが求められるなど留学初期の私にとってはハードルが高い場面も多かったことをよく覚えています。また、ビデオの課題では映画の中でお気に入りのワンシーンを選び取り、それを再現して自分で演技したものを友達と協力して撮影し提出しました。

Drawing and Design:

二学期の art でこのクラスを取っていました。授業内では鉛筆を使ってアトリエにあるさまざまなものをデッサンで描きました。また、自分が描いた作品の発表や他の生徒が描いた作品の講評をする時間もありました。先生は順番に席を回って、生徒にデッサンのコツや新たな技法を教えていました。個人的には落ち着いて絵を描けるこの授業はとてもお気に入りでした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

塾内選考前にどのような準備をしていましたか。

第一次選考の前には自分がなぜ留学に行きたいのかがしっかりと伝わる essay になるように何度も原稿を見返しました。また、細かい言い回しにも注意し、なるべく読みやすい文章にすることを心がけました。第二次選考の前には、志望動機や将来の目標などをもう一度頭の中で整理し、多方面の質問に答えられるように自分が書いた essay を何度も見直しました。最後の第三次選考である Taft へのアプリケーションでは、今までに自分が提出した essay の内容をもう一段掘り下げてより分かりやすい内容のものを書くことを心がけました。また、インタビューに向けては何度も頭の中でイメトレし、面接官の前で自分の伝えたいことをしっかりと端的にまとめられるように練習しました。

以上

